毎日新聞卑猥な日本人像をねつ造

毎日新聞社は 1999 年から 9 年間に渡り、計 100 本以上「日本では息子の性処理を母親が行う」「日本の主婦はコインランドリーで買春をする」「日本人は買春、奴隷狩りの為に海外旅行へ行く」等の変態記事を毎月 2 千万の外国人が読む「毎日デイリーニューズ」にて配信していた。

英文サイトのコラム
読者におわびします

毎日新聞社の英文サイト「毎日デイリーニューズ」上のコラム「WaiWai」の記事に不適切なものがあり、多くの方々に不快な思いをさせました。記事のチェックが不十分だったことを反省し、おわび致します。「WaiWai」は国内の週刊誌などを引用し、日本の社会や風俗の一端を紹介してきましたが、5月下旬、「内容が低俗ではないか」などの批判が寄せられ、英文毎日編集部は記事の一部に不適切な内容があったと考え、削除しました。それ以外の過去記事にもアクセスできないようにし、外部検索サイトにも非表示にするよう要請しました。

その後「WaiWai」を根本的に見直すことにし6月21日、同コラムを閉鎖。毎日デイリーニューズのサイト上と毎日新聞の総合情報サイト「毎日jp」上で日本語と英語による経過説明とおわびを掲載しました。内部で調査を続けていますが、監督責任を含め厳重に処分する方針です。

毎日新聞社は皆様のご意見を真摯に受け止め、今後、信頼されるウェブサイトの編集、制作に努めてまいります。

(6 月 25 日朝刊掲載)

その後掲載された謝罪文(※)では、記事を削除し厳正な処分を行うと伝えるにとどまり、英文版に至っては日本人からの苦情により削除すると述べたのみで、記事内容について何等責任ある説明も謝罪もない。のみならず、毎日新聞社は謝罪文掲載の当日に当事者である常務取締役の朝比奈氏を社長に、局長の長谷川氏を取締役へ昇進させた。

この、前代未聞の責任者の「昇格処分」という決定は、事態を見守る人達のさらなる怒りを買っている。

問題の記事を引用し「日本で少女を安く買春する方法」と称する記事を書く外国人もあり、日本人に対する誤った印象を植え付ける原因となっている可能性が高い。その為特に女性の在外邦人や渡航者の安全が懸念される。東京大学大学院のＲ・キャンベル教授は「毎日新聞の言う事だから信じる人が出るのは当然だ」と語る。もしＮＹタイムスが「これらがアメリカの文化です」と長年に渡り自国紹介として配信したならば……信じてしまう人が多数に及ぶことは想像に難くない。

この問題に、毎日新聞はもちろん広告主への抗議や消費者運動が全国に徐々に広がりつつあり、企業等にも既に広告の撤退や取引停止の他、訴訟も視野に入れた動きが見られている。

西山事件での廃業から 35 年余り、教訓は全く活かされていない。

H20.7.18 発行元・全国の主婦有志一同 (いかなる政治・宗教団体とも関係ありません)